

社会福祉法人みたか福祉会

令和3年度 事業計画書

1. 全体方針
2. 法人概要
3. 法人役員等
4. 会議の開催および監事監査の実施
5. 事業所概要
6. おもな活動予定

1. 全体方針

事業運営が平成30年3月にはじまり、おかげさまで丸三年を過ぎました。令和2年度の事業運営は、新型コロナウイルス感染予防対策に始まり、感染者発生への恐怖を感じながらも、緊張感を持ち業務に取り組んでいる状態が続いています。現在に至るまで利用者・職員における感染者の発生はなく、これもひとえに職員一同が感染に対する意識を高くし、環境整備や支援体制に十分に配慮し、日常業務を行ってきた成果であると確信しております。引き続き感染予防対策の徹底を図ってまいります。

〈事業運営について〉

昨年度は、グループホームでの空床がしばらく続いたものの、現在は満床となっております。今年度は待機者が常に発生している状況がつかれるように地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への案内を継続してゆきます。

また、看護小規模多機能、訪問看護の各事業においては、昨年度下半期より利用者数も増加し、事業の黒字化を達成することができております。しかしながら、看護師・介護職員ともに不足傾向にあることから、依頼内容やお住まいの地域が遠方などの理由から、サービスをお断りせざるを得ないこともありました。今年度は職員の確保と育成に重点をおき、地域の医療・介護の担い手として、信頼していただける支援体制の構築を目指してゆきます。

〈介護報酬改定について〉

令和3年度は介護報酬改定の年度になりますが、介護報酬の改定だけでなく、大きく5点の推進項目があげられています。

1点目は、感染症や災害発生時における事業継続のあり方について、事業継続計画の策定、研修や訓練の実施が義務化。2点目は、認知症の対応力強化、看取りへの対応の充実、医療と介護の連携などの住み慣れた地域で必要なサービスが切れ目なく行われること。3点目は、機能訓練や栄養面への取り組み強化、科学的根拠に基づく評価と取り組み、重度化防止に向けた支援。4点目は、介護人事の確保とICTや介護ロボットの導入による介護現場の革新。5点目は、介護保険制度の安定と持続可能性を確保してゆくためのサービスの適正化。

いずれの項目も当法人においても行わなければいけないものであり、これからの介護保険制度における地域住民に求められる事業であることが明白となりました。

そのため、これからも地域から求められるサービス提供者であり続けることを目指して、人材の安定的な確保をおこなうとともに、あらためて、当法人が事業運営を行う意義を職員全員に共有し、職員同士の意識を高め、これらのニーズにこたえることのできる人材の育成に尽力してまいります。

〈運営方針について〉

まだまだ新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めてゆかなければいけません、今年度は以下の8項目を重点的な事業の運営方針としてすすめてまいります。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底と継続（事業継続計画の策定とWi-Fi環境の活用）
- ② 十分なサービス提供を行うための専門職（看護師、療法士、介護福祉士など）の

採用

- ③業務の平準化（マニュアル化、入社時研修の徹底、OJTによる評価とフィードバックの実施）
- ④職員全体会議や個別面談による法人運営方針の共有や意見交換の実施
- ⑤介護職や医療職として求められる資質・能力向上の研修や外部との交流
- ⑥介護・医療機関や地域への継続したアプローチによる利用者獲得
- ⑦外部機関への発信方法を見直し、当法人が目指す未来に双方の協力体制を構築する（オンライン対策、SNSの活用など）
- ⑧Wi-Fi環境の地域への提供や活用方法について検討し、事業所の活性化と地域への貢献を行う

〈事業継続計画（BCP）の策定と運用〉

今年度より介護保険制度の中で非常災害時の対策、ならびに感染症予防対策を強化する観点からBCPの策定、研修の実施、訓練の実施などが義務化されました（3年間の猶予期間あり）。当法人におきましても、まずはBCPの策定を今年度中に完成させ、同時に研修体系ならびに訓練計画を整備することとし、来年度には、研修・訓練を実行可能にしてゆきます。

〈新型コロナウイルス対策〉

前年度は利用者・職員共に感染者の発生はありませんでした。しかしながら、同感染症が終息しない中での業務運営は引き続き困難が予想されます。そのため、ワクチン接種が完了し、終息方向が見込まれるまでの間は、引き続き感染予防対策を怠らず、前項のBCPの運用ができるよう職員への働きかけを行ってまいります。

以上、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 法人概要

法人名	社会福祉法人みたか福祉会	
所在地	〒181-0005 東京都三鷹市中原4丁目34番22号	
法人設立日 (認可日)	平成29年1月10日	
事業概要	・認知症対応型共同生活介護事業 ・看護小規模多機能型居宅介護事業 ・訪問看護事業 ・企業主導型保育事業	
事業開始日	平成30年3月1日	
職員体制 (2021.4.1 現在)	職種別	・介護職員 30名(常勤17名/非常勤13名) ・看護職員 9名(常勤1名/非常勤8名) ・調理職員 5名(常勤0名/非常勤5名) ・事務職員 1名(常勤1名/非常勤0名) (保育職員4名:常勤3名+非常勤1名) <p style="text-align: right;"><u>合計 45名</u></p>

職員体制 (2021.4.1 現在)	部門別	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム 23名 (常勤12名/非常勤11名) ・ナースケアセンター 22名 (常勤7名/非常勤15名) ・訪問看護ステーション 8名 (ナースケアセンターと兼務) (保育園4名:常勤2名+非常勤2名)	合計 45名
--------------------------	-----	---	--------

3. 法人役員等 (五十音順/敬称略)

項目	氏名 (主な肩書き)
理事長	山田 義剛
理事	加藤 雅江 (杏林大学 保健学部 健康福祉学科 教授) 酒井 利長 (株式会社三鷹利久 代表取締役) 西尾 隆 (国際基督教大学 教養学部 教授) 日向 博 (特別養護老人ホームケアコート武蔵野 施設長) 山田 早苗 (多世代コミュニティホームふぁみりあ 統括施設長)
監事	酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 佐々木信夫 (税理士法人マック・ジェイ 代表社員)
評議員	有江 典子 (こどもデイサービスらびい 管理者) 香川 卓見 (三鷹市大沢地域包括支援センター センター長) 国沢 真弓 (一般社団法人発達障がいファミリーサポート Marble 代表) 野村 優子 (杏林大学医学部付属病院 小児科医 医師) 星野 和子 (三鷹市民生・児童委員 前会長) 松木 隆佳 (リベラルアーツ法律事務所 所長 弁護士) 宮崎陽市郎 (株式会社ミタカロジスティクス 代表取締役)
評議員 選任・解任委員	有村 一仁 (社会福祉法人みたか福祉会 法人管理課 課長) 酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 田中今朝壽 (介護老人保健施設三鷹中央リハケアセンター 事務長)

4. 会議の開催および監事監査の実施

(4-1) 理事会/評議員会/評議員選任・解任委員会の開催予定

項目	実施予定月	内容
理事会	第1回理事会 令和3年5月	令和2年度事業報告について 令和2年度決算報告について その他決議事項
	第2回理事会 令和3年10月	令和3年度補正予算について その他決議事項

	第3回理事会 令和4年3月	令和4年度事業計画について 令和4年度収支予算について その他決議事項
評議員会	第1回評議員会 令和3年5月	令和2年度事業報告について 令和2年度決算報告について その他決議事項
	第2回評議員会 令和4年3月	令和4年度事業計画について 令和4年度収支予算について その他決議事項
評議員 選任・解任委員会	開催に必要な要件が 生じたとき	

(4-2) 監事監査の実施予定

実施予定月	監事名	監査項目
令和3年5月	酒井利高 佐々木信夫	法人定款第11条第1項の規定に基づき、平成28年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

5. 事業所概要

事業所名	定員
グループホームふぁみりあ	利用定員18名（1ユニット9名）
ナースケアセンターふぁみりあ	登録定員29名（1日の利用定員：通所15名／宿泊5名）
訪問看護ステーションふぁみりあ	利用定員 定数なし
ふぁみりあ保育園	利用定員11名（0歳＝3名／1歳＝4名／2歳＝4名）

※各事業所の事業計画は、別紙「事業計画書」を参照

6. おもな活動予定

月	内容	月	内容
4月	全体研修／電気設備年次点検	10月	ハロウィン／GH第三者評価
5月	端午の節句／消防訓練	11月	消防訓練
6月	エレベータ年次点検	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	初春会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会／消防設備点検	3月	ひな祭り／消防設備年次点検

◇内部イベント開催

- ・ 偶数月：運営推進会議
- ・ 毎 月：経営会議
- ・ 毎 月：各委員会の会議

◇外部イベント参加

- ・ 4月・7月・10月・1月：GH看小多機連絡会
- ・ 偶数月：ケアネット・しんなか（地域住民団体）
- ・ 11月：三鷹市社会福祉協議会主催「福祉のしごと相談・面接会」出展
- ・ 11月：三鷹市社会福祉協議会主催「福祉バザー」出展

◇外部研修への参加

- ・ ケア専門職交流会（地域包括支援センター主催）
- ・ 三鷹市介護保険事業者連絡協議会の研修
- ・ 在宅医療・緩和ケアカンファレンス
- ・ 三鷹消防署主催の防火実務講習会……年2回

◇外部研修の受入れ

- ・ 杏林大学医学部の学生による見学研修
- ・ 職業訓練校の学生による職場体験

◇地域交流室の貸出

- ・ 「だんだんらぼ」（地域団体主催：小学校高学年以上の学習室）……月1回
- ・ 「脳若体験会」（社協主催：タブレットを使用したシニア向け脳トレ学習会）……月2回
- ・ 「こどもデイサービスらびい」の夏祭り……8月

◇広報活動

- ・ 事業所の広報誌「ふぁみりあ通信(仮)」の作成配布
- ・ ケアネット・しんなか委員の当事業所見学会
- ・ 三鷹市介護保険事業者連絡協議会会員の当事業所見学会
- ・ 初任者研修受講生向け企業説明会への参加
（鷹口コネットワーク大楽／クリエ福祉アカデミー 等）

以上